



## 生徒会役員選挙を経て、新生徒会役員が決まりました。

現生徒会長からの今年度の振り返りと、新会長・書記長の抱負を掲載します。

### 生徒会活動を振り返って

生徒会長

今年度の生徒会は、respect for all thanks for all の生徒会方針のもと活動に取り組んできました。内野中学校75周年という節目の年にふさわしい1年にするため、広報、いじめ根絶、委員会のそれぞれの担当が、それぞれ工夫を凝らして素晴らしい企画や活動を行うことができたと思います。

私自身も、いつも支えられていたり助けられていたりしている人に感謝を伝える、ありがとうプロジェクトという活動を行い、日頃なかなか伝えることのできない感謝の気持ちを全校の皆さんに伝えてもらいました。この企画を通して生徒会方針である respect 「尊敬」と thanks 「感謝」の気持ちを学校で共有することができました。たくさんの方を学び成長することのできた素晴らしい1年でした。

生徒会長として内野中学校の為に貢献できてよかったです。本当にありがとうございました。

### 生徒会長としての抱負

新生徒会長

生徒会長を務めさせていただくことになりました。私は「生徒一人一人の意見で創り上げる内野中」というスローガンを掲げました。このスローガンのもと、私は生徒の意見がより届きやすく、意見が反映される学校を創りたいと思います。そのために私は2つの活動を行いたいと考えています。

1つ目は、委員会や生徒会の広報活動の強化です。この活動は、より内野中の委員会活動を全校に知ってもらうための取り組みです。

2つ目は、意見箱の設置です。この意見箱の目的は、内野中をよりよくするための意見を集め、活動に活かしていくことです。意見箱を設置することで生徒の意見が届きやすくなりたいと思います。

私は生徒会長としての自覚を持ち、積極的に行動していきます。また、「生徒一人一人の意見で創り上げる内野中」の実現に向け一所懸命に頑張ります。1年間よろしくお願ひします。

### 書記局長として

新書記局長

書記局長になりました。私が書記局長になろうと思った理由は、生徒会活動をもっと多くの人に興味を持ってもらいたいと思ったからです。私は昨年から書記局員として活動していました。その中で感じたことは、生徒会本部と聞くと堅苦しそう、大変そうというイメージを持っている人が多いということです。確かに大変な場面も多いですが、それ以上に得られることの方が私は多いと思っています。学校の中心となって活動していく上で、責任感や、思考力、コミュニケーション能力も高まります。また、普段関わることのできない他クラスや、他学年の人とも関わることができます。

このように、生徒会本部には魅力がたくさんあると思います。そういった魅力を全校生徒に知ってもらい、生徒会活動に協力したいと思う人が増えてほしいと思いました。これからの活動で、皆さんに生徒会本部の魅力を伝えていけるよう頑張ります。

副会長・応援団長の抱負は次号に掲載します。

## 2学年が修学旅行に行ってきました。

実行委員長の振り返りを掲載します。

### 修学旅行を振り返って

修学旅行実行委員長

今年の修学旅行スローガンは「Try ～自分自身の成長に挑戦！～」です。私たちはスローガン達成に向けて、「小さな成長」プロジェクトを行いました。5分前行動や爽やかな挨拶などの「小さな目標」をかかげ、普段の生活から修学旅行に向けて意識を高めました。私はこのプロジェクトを通して、今までできていたことが、実際意識してみるとあまりできていないということに気がきました。

このように、新しい発見やこれからの生活に向けての改善点、活かしていくことなどを見つけ、修学旅行を通して「自分自身の成長」を達成できたと思います。来年、私たちは最高学年となり、学校全体をまとめる存在となります。修学旅行で得たものを来年の学校生活で活かしていき、よりよいものとしていきたいです。

今まで支えて下さった先生方、旅行会社の方々、保護者の皆様、また最高の修学旅行にするために動いてくださった実行委員のみなさん、本当にありがとうございました。



つくば市 宇宙航空研究開発機構 (JAXA) にて



ロイヤルホテル那須前にて

### 新潟県ジュニア展覧会で入賞しました！

#### 《特賞の講評です》

画面に入りきらない構図からはエネルギーと力強い生命感を感じます。筆づかいも大胆に、のびのびと絵の具をのぼし勢いを感じます。色彩の組み合わせと、その描き方の特徴がこの絵の魅力です。



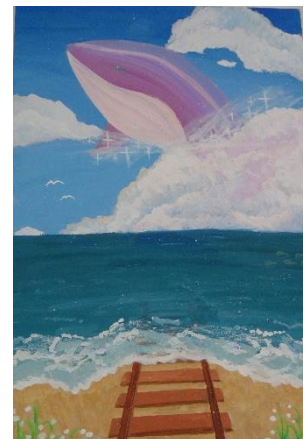
特賞 1年



奨励賞 1年



奨励賞 2年



奨励賞 3年

その他のコンクールについては次号で紹介します。